

## 2013 年度生涯学習論 I (火曜日 1 限目)

### Lifelong Learning I

担当： 留学生日本語教育センター 教授 谷 和明

連絡先 留日棟 503 TEL/FAX 042-330-5773

Email: [sk-tani@tufs.ac.jp](mailto:sk-tani@tufs.ac.jp)

生涯学習論の広場 <http://w.livedoor.jp/lifelonglearningtufs/>

#### 【授業の目標と概要】

「教育全体の哲学、概念的枠組、体系化の原理」(UNESCO) とされる生涯学習の理論と実践を、歴史、実践(制度、政策、施設)、理論という3つの視点から検討し、その現代的意義を理解する。

前期の I では、生涯学習が 19 世紀以来の成人教育・社会教育という実践領域から発展してきた過程、特に UNESCO を中心とした生涯学習概念の展開を歴史的に考察して生涯学習の理念を明らかにするとともに、日本の代表的生涯学習施設である公民館に焦点を当てて現代日本の生涯学習の現状を具体的に理解する。そのために、教室での講義・討論に並行して近隣自治体の生涯学習施設調査を実施する。

#### 【授業計画】

- 4 月 9 日 第 1 回 生涯学習への招待：何を学ぶか、どのように学ぶか
- 4 月 16 日 第 2 回 現代の教育政策理念としての生涯学習(1) 提唱と普及の過程を追跡する
- 4 月 23 日 第 3 回 現代の教育政策理念としての生涯学習  
(2) 生涯学習の跳躍点となった 1976 年ナイロビ：2 つの UNESCO 勧告文書を解説する
- 4 月 30 日 第 4 回 現代の教育政策理念としての生涯学習  
(3) CONFINTEA6 の地平：現代の生涯学習の到達点とその課題
- 5 月 7 日 第 5 回 日本の生涯学習の現状：法と統計を手掛かりにして
- 5 月 14 日 第 6 回 生涯学習の施設と機会：近隣自治体生涯学習調査の準備
- 5 月 21 日 第 7 回 公民館の歴史と制度
- 5 月 28 日 第 8 回 近隣自治体のコミュニティー政策と地域センターの比較検討
- 6 月 4 日 第 9 回 生涯学習の場としての地域センター(1) アジアにおける CLC の展開
- 6 月 11 日 第 10 回 生涯学習の場としての地域センター(2) 欧米社会におけるセトルメントの系譜
- 6 月 18 日 第 11 回 生涯学習の場としての地域センター  
(3) ドイツにおける自治体内分権と地域センターの役割
- 6 月 25 日 第 12 回 公民館における教育・学習事業の現状
- 7 月 2 日 第 13 回 近隣自治体での生涯学習事業の検討(1) — 調査の振り返り学習
- 7 月 9 日 第 14 回 近隣自治体での生涯学習事業の検討(2) — 調査の振り返り学習
- 7 月 23 日 第 15 回 まとめ 国際比較の観点から見た日本の生涯学習の特徴

#### 【成績評価】

期末レポート(70%)と調査活動を含む平常点(30%)とによって評価します。

#### 【受講上の注意】

第 1 回目の授業で指示します。

生涯学習の現場を知るために、施設調査にも積極的に参加してもらいます。

#### 【テキスト・教材】

原則として授業で使用するレジュメ、資料を事前に「生涯学習論の広場」にアップしておくので、受講生はそれをダウンロードしたうえで持参する。

参考文献

\*第 6 回国際成人教育会議のための国内「草の根会議」編『日本の社会教育・成人教育—最近 12 年の政策・実践・運動：分析と提言—』2009 年(非売品：自家製本版)

\*参考文献日本公民館学会編『公民館のデザイン』エイデル研究所 2010

\*その他必要な UNESCO 等の資料については随時配布する